

ウィズ通信

えっ、日本の男女平等度は世界 101 位 ! ?

世界経済フォーラムが世界各国の男女間の格差を数値化した世界男女格差報告 2012 で、日本は 135 か国中 101 位でした（上位ほど男女の格差が少ない）。報告は 4 分野から評価されており、「経済」102 位「教育」81 位「健康」34 位「政治」110 位となっています。内訳を見ると、健康寿命、識字率（文字の読み書きができる人の割合）、初等教育・中等教育への就学は 1 位です。一方で、経済活動における幹部や管理職、国会への女性の進出、大学等への就学の順位は 100 位以下です。日本の女性は、健康で長生きできる環境にあつて基礎的な教育を受けているのに、その力が労働や政治の場で十分に生かされていないということです。

昨年の総選挙後の衆議院議員の女性比率は 7.9%、世界最低レベルでした。世界の女性国会議員比率の平均値 20.3%をはるかに下回り、190 か国中 163 位です。IPU*によると政党が候補者の一定割合を女性にするなどの「クオータ制」を設けたアルジェリアは、アラブ諸国で初めて女性議員が 3 割を超え、女性の政治参画が進みました。日本でも、こうした制度を進めていくことが必要です。

様々な分野で女性の力がもっと発揮できれば、社会は変わります。しかし、そのためには社会、経済の方向性を決める場に女性が入り、意見を届けていくことが必要です。男女共同参画社会の実現は、個人の幸せだけではなく、社会の利益につながっています。

順位	国名
1	アイスランド
2	フィンランド
3	ノルウェー
:	:
99	アゼルバイジャン
100	マレーシア
101	日本
102	ベリーズ
103	カンボジア

*IPU(列国議会同盟)は、1889年に設立された世界の議会による国際機関。2012(平成24)年4月現在、162の国・地域が加盟。

摂津市立男女共同参画センター ウィズせつつは・・・

性別に関わらず、家庭、学校、職場、地域などで、一人ひとりが個人として尊重され、対等な関係を築き、共に責任を担う男女共同参画社会づくりを推進するための施設です。

性別による固定的な意識を見直し、女性の自立と社会参画を推進します。また、市民の活動やネットワークづくりを応援します。



摂津市立男女共同参画センター情報誌
「ウィズ通信」は、年に3回、5月・9月・1月に発行します。

男女共同参画 TOPICS

男女共同参画週間

内閣総理大臣を本部長として各大臣で構成する男女共同参画推進本部は、「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日である平成11年6月23日を踏まえ、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」としています。

平成25年度のキャッチフレーズは

「紅一点じゃ、足りない。」

内閣府男女共同参画局ホームページ <http://www.gender.go.jp/>

男女共同参画週間パネル展

ウィズせつつでは、男女共同参画週間にあわせ、「第3期摂津市男女共同参画計画～ウィズプラン」の紹介など、パネル展を開催します。

期 間：6月23日(日)～30日(日)

場 所：コミュニティプラザ エントランスホール

ウィズせつつフェスタ 2013

男女共同参画社会の実現をめざす市民グループの活動発表

「出会う、気づく、つながる、行動する」をテーマに、ウィズせつつフェスタ 2013 を開催しました。男女共同参画センターと、男性も女性も対等なパートナーシップを築くことを目的に活動をしている男女共同参画推進団体が、一年間取り組んできたことを発表する機会として、また、国連が定める3月8日の「国際女性の日」にちなんで毎年3月に開催しています。センター事業としては「パパの家事・育児自慢写真コンテスト表彰式と写真展」、せつつ女性大学修了生の「女性と防災をテーマにした卒業制作」、「stop DV タペストリーの展示」を行いました。男女共同参画推進団体は、活動報告展示、体験企画、舞台発表、模擬店、そして、女性のチャレンジを応援する「手づくりマルシェ」など、様々な企画に力を発揮しました。約1,500人の市民の方々が来場され、男女共同参画センターと各団体の活動について、多くの人に知ってもらう機会となり、盛況のうちにフェスタを終えることが出来ました。



※ホームページもご覧ください
<http://www.with-settsu.jp/festa2013repo.html>



ウィズせつつフェスタ2013ふし講演 ～東日本大震災から2年 福島県飯舘村のこれから～ 「まδειの力」を開催

「まδει」とは、手間ひま惜しまず、丁寧に、心をこめて、つつましく、という意味です。そんな暮らし方を“まδειライフ”と呼び、取り組んできた福島県飯舘村から、佐野ハツノさんをお招きしました。日本で初めて女性の農業委員会会長となり、農家の女性の地位向上に向けた活動を実践してきたことや、震災後、仮設住宅の管理人として、住民のつながりの場づくりに取り組んでいること、そんな中で、避難生活を送る女性たちが裁縫技術を生かして「まδει着（着物地を使った小物・衣服など）」を作り販売する「いいたてカーネーションの会」を立ち上げ、村の女性の自立をめざして活動していることなどについて熱く語られました。

参加者からは、「被災地の話を直接聞いて現状がよく分かった」、「もっと被災地に関心を持たなければ」といった感想が寄せられました。ウィズせつつでは、講演会場とフェスタで「まδει着」のチャリティ販売を行い、売上金74,500円を飯舘村に送りました。

また、写真展「あの日を忘れない 東日本大震災復興に向けて」を同時に開催し、震災直後からの被災地の状況や、ビッグパレットふくしまの避難所内女性専用スペースの記録、摂津市職員等のボランティアチームによる被災地支援の取組みなどを紹介しました。

震災から2年、まだまだ長い道りである被災地の復興に、私たちがどのような形で支援していくことができるのかを知り、考える機会となりました。



講師の佐野ハツノさん

3年目を迎えた せっつで一番！パパの家事・育児自慢写真コンテスト

平成22年度から始まった写真コンテスト。24年度は、27名の方から43作品の応募があり、その中から入賞7作品を決定しました。そして、「ウイズせっつフェスタ2013」で入賞者の表彰を行い、全応募作品を展示しました。

写真コンテストの他にも、23年度から「せっつパラスクール」や「ひよっこ広場」などの事業を通じて、男女共同参画の視点から子育てを応援しています。ウイズせっつにも、抱っこひもやベビーバギーでお子さんと一緒に来館する男性が増えてきました。子どもたちが健やかに育つには、母親だけでなく、たくさんの大人が子どもに関わり、成長を見守る環境が必要です。みんなで楽しく子どもを育てられる社会を作っていきましょう。

※ホームページもご覧ください <http://www.with-settsu.jp/H24photocon-repo.html>

スーパーパパ賞



「パパ、お話よんで」

津田誠美さん

毎日、子どもを寝かしつける前にお話をよんでくれるパパ。実は、子どもが生まれる前から、お腹に向かってお話をよんでくれていたイクメンなんです。これからも、そのイクメンぶりを発揮してね！

受賞のコメント

■このような賞をいただき、光栄に思います。育児は、大変なことや悩みなどもたくさんありますが、それらも楽しみに変えながら、家族仲良く笑顔で絶やさずに過ごしていきたいと思います。

スーパーパパ賞



「秋を探しに」

内田典子さん

パパと秋探しのお散歩。どんな秋が見つかるかな…？って、あれ？男同士の内緒話に夢中？ママも仲間に入れてよ～

受賞のコメント

■育児で賞を受けることができ、うれしいです。子どもたちにも自慢できました。これからも子どもたちと共に成長していきたいです。

パパとほっこいで賞



「お父さんとの楽しい時間」

米田美菜さん

新生児の時から、お風呂はお父さんとの楽しい時間でした。いつも優しく、おもしろく声をかけながら、笑わせてくれるので、娘もお風呂が大好きです。

審査員特別賞



「パパも一緒に“ア～ン”」

時任克典さん

6か月の息子の離乳食。たくさん食べて欲しくて、パパも一生懸命。息子より大きなお口で“ア～ン”!!もぐもぐごくんおいしいね。今日もしっかり完食しました。パパいつもありがとうございます。

パパも夢中で賞



「あれ なあに？」

古田磨樹さん

休日は、積極的に育児をしてくれるパパ。気長にじっくりと遊んでくれる、優しいパパが息子は大好き。安心して任せていられるので、ママも大助かり。感謝しています。

受賞のコメント

■これからパパには、さらにパワーアップしたイクメンを目指してもらって、私はそのシャッターチャンスを見逃さないように、そして、息子が大きくなった時にはその写真を見せて、パパがこんなに育児頑張ってたんだよー！って教えてあげたいと思います。

育メンで賞



「パパといっしょなら」

小澤靖典さん

ママの歯みがきを嫌がっていた娘。入院中はパパの添い寝だったので、パパが歯みがきにチャレンジ。パパの「上を向いてー」の掛け声で歯みがき成功！歯みがきが苦手なお子さんに、ぜひお試しあれ。

受賞のコメント

■成長の早いこの時期は、すべての瞬間が輝いているので、これからもカメラ片手にベストショットが撮れるように撮り続けていきたいです。

パラスクールでお会いしま賞



「何してるの～？」

松原祐子さん

娘が生まれてから、休日の洗たくはパパがしてくれます。最近寝返りができるようになった娘は、ベランダに出る度に「何してるの？」と不思議そうに転がります。いつになったらわかるのかなあ…お・せ・ん・た・く!!

受賞のコメント

■本人は覚えてないだろうけど、大きくなった時にこんな様子だったと話してあげられるいい記録になったと思います。また、他の応募作品を見て、子育ての励みになりました。



★★★★★★ 平成25年度に開講予定の講座・イベント ★★★★★★

一人ひとりが性別に関わりなく個性と能力を発揮することのできる男女共同参画社会の実現に向けて、さまざまな講座やイベントを実施しています。センターで実施する講座は、「第3期摂津市男女共同参画計画～ウィズプラン～」に基づいて開催しています。くわしくは市広報やセミナーガイド、ホームページをご覧ください。

	回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
せつ女性大学	10												
男女共同参画セミナー	2												
せつパパスクール	5												
男の知っ得セミナー	3												
働きたい女性応援セミナー	4												
ココロをつなぐハンドメイドの会	未定												
DV防止セミナー	1												
ハピママの楽育ひろば	12												
ウィズほっとサロン	未定												
チャレンジ講座	未定												
定時に帰りたいあなたのための「段取り術」	3												
フェスタプレ講演	1												
ウィズせつフェスタ	1												

男女共同参画セミナー／せつ女性大学入学記念講演

松井久子の生きる力～命をつなぐものとして～

日時：7月13日（土）午後1時30分～3時30分

場所：コミュニティプラザ3階コンベンションホール

講師：松井久子（映画監督）



1946年生まれ。雑誌ライターを経て、俳優のプロダクション会社を設立。その後、(株)エッセン・コミュニケーションズを設立し、プロデューサーとして、テレビ番組を多数企画・制作。50歳の時に「ユキエ」で映画監督デビュー。2002年に「折り梅」、2010年には、彫刻家イサム・ノグチの母親レオニー・ギルモアの生涯を描いた「レオニー」が公開されている。

◆松井久子監督作品「ユキエ」上映会

日時：7月13日（土）午前10時～12時10分

場所：コミュニティプラザ3階コンベンションホール

アメリカ・ルイジアナを舞台に夫婦の愛と老いの姿を描いた作品(1998年)



© (株)エッセン・コミュニケーションズ

編集・発行 摂津市立男女共同参画センター ウィズせつ

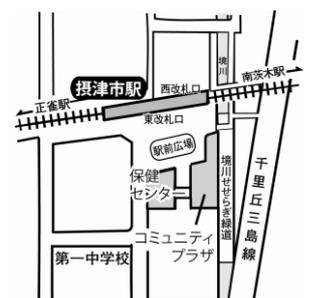
●開館時間：月・木・金・土・日曜日 午前9時30分～午後5時
火曜日のみ 午前9時30分～午後9時

●休館日：水曜日・祝日・年末年始

〒566-0021 摂津市南千里丘5-35 摂津市立コミュニティプラザ1階

TEL：06-4860-7112 FAX：06-4860-7113

URL：http://with-settsu.jp e-mail：danjyo@with-settsu.jp



2013年5月発行